事務事業評価シート　平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

所管課	農水産課	担当班	振興班

事務事業名	コード	24800	田園環境保全事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	6	1	5

施策体系					
基本施策	23	良質な環境の保全	根拠法令	旭市補助金等交付規則	
施策の展開	43	自然環境の保全	戦略事業	213	田園環境保全事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間
- ☑ 単年度繰返
  - ☑ 平成 14 年度～
  - ☐ 開始年度不詳
- ☐ 期間限定複数年度
  - 平成 ＿ 年度～
  - 平成 ＿ 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

●水稲転作事業の一環としての土地利用を推進することにより、農地及び田園環境の保全を図り憩いの場を提供することを目的とする。具体的には河津桜や菜の花等を転作田にて栽培し、ただ単に水稲の生産調整としての緩衝地としてではなく、景色を楽しめるようにする。景観を楽しめるよう、草刈やゴミ拾い等を該当圃場にて行う結果として、耕作放棄地等の発生を防ぐことが出来る。市としての関与は上記事業の実施主体に対して活動経費の一部（概ね事業費の半分程度）を定額で補助する。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

主食用米の生産調整に際して、条件の悪い水田圃場にて景観形成作物を栽培することで、主食用米の生産調整及び、農地の適正管理を促し、田園環境の保全及び地区住民の共同利益を増進することを目的として活動を開始したものと推測される(平成14年頃)。

④事務事業に関する課題・環境の変化

平成17年の合併を経た状況においても、当事業の実施主体が旧海上地区にのみ存在する状況となってしまっている。
活動の内容に関しては景観形成作物の栽培だけでなく、事業主体は圃場周辺の環境整備に関しても継続的かつ発展的に活動に取り組んでいる。

⑤事務事業に対する住民からの意見等

当該活動は農地の適正管理に貢献しており、地区内では初夏に蛍の鑑賞を出来るほど良好な環境をつくることに貢献できている(住民)
事業の活動の中で、崖の崩落時の土砂の撤去等、費用のかかる事業を行う場面があり、活動を継続していく上で補助金は必要不可欠である(事業実施団体)

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)　単位：千円

1.田園環境保全事業補助金	1,000	蛇園出清水管理組合1,000千円

② 特定財源の内訳(30年度の決算)　単位：千円

1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度増減理由	

		単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
事業費 費目内訳	1. 田園環境保全事業補助金	千円	1,150	1,150	1,000	1,000	1,000
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
	事業費計 (A)	千円	1,150	1,150	1,000	1,000	1,000
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	1,150	1,150	1,000	1,000	1,000

従事職員数	常時	1 人	最大	人 ×	日 ＝	延べ	0 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

30年度実績(30年度に行った主な活動)

・水路管理
・崖崩れ直し
・景観形成作物の栽培、管理
・圃場付近のごみ拾い、草刈り

	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
ア	事業実施団体数	団体	2	2	1	1	1
イ							

目的

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)

対象	圃場条件の悪い水田転作地及びその周辺地区
意図	遊休農地化を防ぎ、当該地区を訪れた人たちが景観を楽しめるような田園風景を構成するような農地・地区になる。
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
ア	当事業を活用し景観形成作物を栽培している面積	ha	4	4	4	4	5
イ	コスモス祭りの来場者数	人	100	200	200	200	200

(4)事務事業優先度評価の結果

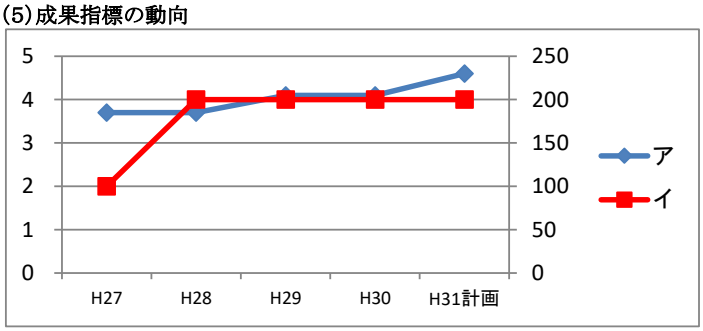
①成果優先度評価結果

		成果向上余地 かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			⑦
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率 下位1/3	中位1/3	上位1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③			
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨	(7)		

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下

【コメント】(低下の場合、その理由)

成果動向 比較	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 31計画
ア	△0	0	0	0	1
イ	△100	100	0	0	0

③ 今年度取組事項(31年度に取り組む主な事項について記載)

時期	内容
年度内	本年度は1組合のみが事業を実施する予定

今後の方向性
- ☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し
- ☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

年度内　例年通りの事業を実施